

公共施設の見直しに係る実施計画（概要版）

施設名	奈良尾温泉センター
-----	-----------

担当課	まちづくり推進課
課長	竹中次郎

1. 施設の現状

・本施設は、昭和56年に建設され、温泉を利用した保養と健康増進の場を提供し、町民の福祉の向上、観光の振興に寄与するために、平成12年4月に「旧生月・奈良尾船員センター」の施設を旧町が譲り受けて運営しているものである。

・施設の管理運営は、施設の管理者として町の嘱託職員1名、清掃・受付業務として臨時職員4名を配置している。

・施設の現況は、1階に温泉施設、レストラン、2階に大宴会場、会議室、3階に宿泊施設（洋室7室、和室5室）を有するが、施設の老朽化が著しく、1階の温泉施設を除いては、平成18年4月より事実上閉鎖している。

・利用状況は、地域の高齢者の利用が中心であるが、施設の老朽化に伴いH18年度21,296人、H19年度19,479人と年々減少している。

2. 見直しの方針

(1) 計画期間内（H26年度まで）

目標年度	見直し方針
	現状維持 (将来の方針を示す施設)

(2) 将来の方向性

見直し方針
当面現状を維持するが、将来的には新たな源泉の活用を検討する。

(3) 見直し内容

・施設の老朽化は著しいが、温泉施設については高齢者を中心に一定の利用が見込まれ、使用できる間は可能な限り利用するものとし、新しい源泉を活用した施設の建設の方向性が出るまでは、現状を維持するものとする。

・世界遺産登録を見据え、国民宿舎の建替えは喫緊の課題であることから優先し、引き続き、財源の確保を行ったうえで、新たな源泉の活用を行う。また、その活用については、観光客も視野に入れた足場や公衆浴場及び温泉水の自動販売等、現温泉センターの見直しと並行して幅広く検討していきたい。

奈良尾新温泉の源泉については平成16年10月に掘削しているが、長期間放置すると使用時に井孔内洗浄が必要であり、温泉成分については温泉法によって10年間は有効とされている。

3. 施設運営コスト

(単位：千円、人)

年度	管理運営コスト		人員配置状況(人)				利用状況	
	金額	うち 人件費	正職員	嘱託員	臨時	委託	利用収入	利用者数
19	8,317	6,100	0	1	4	0	4,125	19,479